

2019年5月 外来医師一覧表

		月	火	水	木	金
外科	午前	田辺 大朗		田辺 大朗	甲斐 幹男	
整形外科	午前	西口 雅彦	西口 雅彦		西口 雅彦	
	午後		西口 雅彦			
脳神経外科	午前			藤岡 正導		藤岡 正導
	午後			藤岡 正導		
脳神経内科	午前				済生会熊本病院医師 (2、4週)	
心臓血管外科	午後	済生会熊本病院医師				
循環器内科	午前	庄野 弘幸	庄野 弘幸		庄野 弘幸	
	午後	庄野 弘幸	庄野 弘幸		庄野 弘幸	
呼吸器内科	午前	済生会熊本病院医師 (2、4週)				
消化器内科	午前	長島 不二夫	藤本 貴久	築村 哲人	築村 哲人	藤本 貴久
	午後				築村 哲人	
肝臓外来	午前			熊本病院医師 (川崎 剛)		
泌尿器科	午前			済生会熊本病院医師	済生会熊本病院医師 (1、3週)	
腎臓内科	午前					町田 健治
	午後			町田 健治		
糖尿病外来	午前					済生会熊本病院医師 星乃(2週)、松尾(3週)
乳腺外来	午前	田辺 大朗		田辺 大朗	甲斐 幹男	
ペインクリニック	午後					荒川 和也 (2、4週)
禁煙外来	午後					藤岡 正導
動脈硬化外来	午後		藤岡 正導			
脳ドック	午後			藤岡 正導		

- 受付時間／午前8:30～11:00 (土・日・祝日・年末年始を除く)
- 診療案内／TEL.0964-53-1656 FAX.0964-53-1657
※お電話での予約や予約変更は平日14:00～17:00に承っております。
※休診日がございますので、事前にお問い合わせください。

診療科名が変更となりました

旧:神経内科 → 新:脳神経内科

患者さんの権利と義務

私達は、安心して診療・治療を受けて頂くために、病状や治療法などについて十分な説明を行います。
また患者さんのご負担を軽減し、同意に基づいた医療を提供します。

患者さんの権利

- 1.良質な医療を公平に受ける権利
- 2.診療の内容等について十分な説明を受ける権利
- 3.治療方法など自分の意志で決定する権利
- 4.個人の秘密や医療上の情報が保護される権利
- 5.診療記録の開示を求める権利
- 6.あなたの病気について他の医師に意見を求める権利

患者さんの義務

- 1.自分の健康状態を出来るだけ正確に伝える義務
- 2.わからない事柄について質問する義務
- 3.病院の規則と指示を守り治療に専念する義務
- 4.他の来院者に対して迷惑をかける義務

理念と基本方針

医療・福祉を通じて安心して生活できる地域づくりに貢献します。

「地域医療を支援します」「救急医療を実践します」「健康的な生活を支援します」



社会福祉法人
恩賜財団
済生会みすみ病院

〒869-3205 熊本県宇城市三角町波多775-1
TEL.0964-53-1611(代表) FAX.0964-53-1618

お知らせ・休診情報はこちら
<http://sk-misumi.jp>



発行/令和元年5月 社会福祉法人済生会みすみ病院 広報委員会

咲かせよう いのち 世代を越えて いつまでも。



SAISEIKAI MISUMI HOSPITAL

50 Take Free.
2019.5



敷地内に
咲いた桜の花

新入職医師紹介／マンモグラフィ更新

リハビリテーションだより「加齢に伴う嚥下障害」

部署紹介[情報システム室]／みすみ病院のできごと

外来医師一覧

[特集] 平成の小さな出来事



社会福祉法人
恩賜財団
済生会みすみ病院

健康と福祉の情報誌／発行者 庄野 弘幸



新入職医師紹介

フレンドリーな病院の雰囲気の中
皆さんとお仕事させて頂いております。

はじめまして。今年3月よりお世話になっております長島不二夫といいます。生まれは岡山です。中学校に入学するとき熊本に転居、出水中、竜南中、熊本高校、壺溪塾を経て熊大医学部に入学。卒業後、約8年間を熊本で生化学の教室で学んで参りましたが、能力の限界を感じ、当時父が岡山で闘病中でしたので岡山の病院に就職、父を看取ってから広島 of 病院に院長のご好意で移ることになりました。

約10年遅れの臨床研修のスタートとなりました。岡山、広島での経験が今の私の臨床の原点になっています。

しかし、就職先では着任時に既に業務が決まっており、内視鏡検査、胃・大腸レントゲン検査、外来、入院患者さまの診断・治療、人間ドック業務など盛りだくさんのメニューをこなしながら、内視鏡、X線検査の技術を学んでいくことになりました。

また、医師としてのトレーニングも受けていませんでしたので、知識・技術ともに抜けが多い中でのスタートとなりました。

それでも、内視鏡(上部・下部)検査の基本、胆道系検査の基本、超音波検査の基本を一通り学び、ある程度の治療技術を身につけることができました。

約10年の勤務の後、人吉を振り出しにいくつかの病院を転々とし、その間の不摂生のため糖尿病の発症、心筋梗塞の発症を経験しました。治療をして頂いた済生会熊本病院の先生方にあらためてお礼申し上げます。入院中院長先生から、前下行枝の起始部の狭搾で運が悪ければ最悪の結果になり得る病変であることを知らされ、そのときより病氣と向き合う生活がはじまりました。

たまたま縁あって健診施設(赤十字熊本健康管理センター)に移り、人間ドック・健診業務、特に内視鏡検査、胃X線検査に取り組む事になりました。しばらくして人手不足もあり、住民健診などの診察にも関わる様になりました。

そんな中、センターに併設されているジムでランニングを始めました。エアコンの効いた室内でのトレーニングでしたので快適なものでした。その後マラソンや駅伝に誘って頂くようになり体力にもある程度の自信が持てる様になりました。

みすみ病院に勤めるきっかけになったのは藤本先生が声をかけてくださったからです。何度か遊びに来た時、知り合いの看護師さんにお会いしたり、忘年会に誘ってくださったりしてフレンドリーな病院の雰囲気に残された時間は少ないけど本来の地域医療に少しでも貢献できたらと言う意識が芽生えて来ました。結果こうして皆さんと仕事をさせて頂くことができるようになったことを家族ともども嬉しく思っております。

まずは電子カルテ攻略からと仕事を始めましたが、いまだに皆さんにご迷惑をおかけしております。飽きずにおつきあいください。

よろしくお願い致します。



消化器内科
長島 不二夫



マンモグラフィ機器更新

3月25日に放射線検査室に新しいマンモグラフィ機器を
更新設置しました。(ハローキティデザインです!)

マンモグラフィとは乳房専用のレントゲン検査を行う装置です。乳がんの早期発見に有効な画像診断のひとつであり、乳がんの初期症状や触診ではわかりにくい小さなこりも画像としてとらえることが可能です。

乳がんにかかる人は年々増加しており、特に40歳代から乳がんにかかる危険性が高くなります。そのため、40歳を過ぎたら自覚症状がない女性でも2年に1回は乳がん検診を受けることが推奨されています。検査時には、乳房をはさんで撮影する検査のため少し痛みをとまいますが新しい機器は圧迫板の改良と画像の質は落とすことなく圧迫をやわらげる構造も追加されました。

撮影は女性技師が担当しています。この機会にぜひ検査を受けてみませんか?

放射線検査室/金子 温子



Instagramを始めました!

2018年7月にみすみ病院
公式Instagramを始めました。病院敷地内の季節の風景や地域の様子をアップしています。ぜひ、ご覧ください!



Instagram

はじめました

@misumi_saiseikai
#みすみ病院 で検索



リハビリテーションだより
加齢に伴う飲み込み(嚥下)障害

飲み込みに問題がありますか?

皆さんは「飲み込みに問題がありますか?」と問いかれた場合に「私は特に問題はありません。」と答える方が多いかと思いますが、「若い頃に比べて、飲み込みにくさや何かしらの変化を感じたことはありませんか?」の問いには多くの方が「あるかもしれない。」「何か変わったな」と感じている方はいませんか?今回は加齢に伴う飲み込み(嚥下)の障害とその予防についてお話したいと思います。

飲み込み(嚥下)とは? /

飲み込み(嚥下)とは食べ物を認識し口に入れて、噛み、飲み込むという一連の動作をいいます。この一連の動作に問題があることを飲み込み(嚥下)障害といいます。

加齢に伴う飲み込みの変化

- 噛む力が低下する
(例:歯が抜けて噛みにくい、入れ歯が合わず、噛みにくい…)
- 味覚が変化する
(例:味が分かりにくい、濃い味を好むようになった…)
- 食べるために必要な筋力の低下
(例:食べるのが疲れる。飲み込みにくいものが増えた…)
- 飲み込みの反射の低下
(例:むせやすくなった、飲み込みにくくなった)

飲み込み機能が低下すると…

- 食事中や食後にむせや咳が多くなる
- 食後に声が変わる
- のどに違和感や食物の残留感がある
- 体重減少、倦怠感



▶▶ 以上のような徴候があると誤嚥している可能性があります。

誤嚥とは? /

つば(唾液)や食べ物や飲み物などが誤って気管に入ってしまうこと。(誤嚥性肺炎)細菌が食べ物や飲み物、つば(唾液)と一緒に食道ではなく、誤って気管や肺に入って発症する肺炎。

▶▶ 誤嚥性肺炎は高齢者に多く発症し重症化しやすい病気です。

誤嚥性肺炎の原因

- 口の中の細菌の増加
- 口の機能および飲み込み機能の低下
- 背景的に葉疾病、加齢、免疫力の低下



飲み込み(嚥下)障害の予防

- お口の掃除 …… 食前、食後、就寝前、起床後にうがいもしくは歯磨きをしましょう!
- 食後の姿勢 …… 胃逆流防止のため、食後はしばらく横にならないでいましょう!
- 飲み込み(嚥下)体操 …… 家事をしながら、テレビを見ながら、〇〇をしながら…

▶▶ ながら健口体操を日々の生活に取り入れましょう!

歌を歌ったり、お口をしっかり動かして会話をしたりすることも効果的です!

健口(けんこう)体操

①深呼吸をしましょう



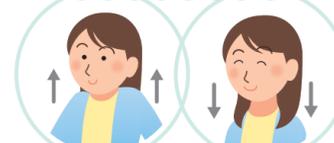
鼻から吸って、口から出しましょう

②首を動かしましょう



前後・左右・横に動かしましょう

③肩を動かしましょう



肩を挙げてスッと力を抜きましょう

④ほっぺたを動かしましょう



膨らませたり、すぼめたりしましょう

⑤唇を動かしましょう



はっきり「うー」、「いー」と言きましょう

⑥舌を動かしましょう



前後・左右・上下に動かしましょう

⑦声を出しましょう



「ぱぱぱ…たたた…かかか…ららら…」

⑧咳払いをしましょう



大きく息を吸って、止めてゴホン!!

最後に深呼吸をして終わらしましょう!!



飲み込み(嚥下)障害は、個人差はありますが、加齢とともに誰にでも起こりうる障害の一つです。手始めに、お口の掃除(食前後、就寝前、起床後のうがい)を行い、家族や友人、知人とたくさん会話をし、いつまでも安全に楽しく食べられるように日々の生活の中で飲み込み障害の予防に心がけて頂ければと思います。

特集

SAISEIKAI
MISUMI
HOSPITAL



みすみ病院にある中尾さんの絵画をバックに新任式(2019.4.1)
〔前列右から2番目が瀬井名誉院長〕

平成の小さな出来事

中尾彰・吉浦摩耶ご夫妻と済生会病院

平成は元年1月8日から始まり31年4月末日をもって幕を閉じました。30年余の永きに亘ると、その間、人生で遭遇し得る自然災害のほとんどが網羅されており、よくもこれほどまでに実体験したものだと思わずに感じます。他にも公私共々無数のイベントがありました。強いとすれば平成7年4月済生会熊本病院新築移転、そして平成15年3月済生会みすみ病院開設でしょう。今日は済生会熊本病院移転時のささやかな出来事を書き記したいと思います。

段山にあった済生会熊本病院は狭い敷地でスクラップアンドビルドを繰り返して、パワー溢れる状態がありましたので、更なる飛躍を目指すには新築移転の他はないと再三再四協議を重ね、現在の地(近見)に決定しました。

外来ロビーは広くとり、周りを壁画で囲み、明るい環境をイメージしました。壁画は著名な画家、中尾彰・吉浦摩耶ご夫妻に依頼。平成6年夏に来熊され童画をモチーフに構図し製作に着手されたようです。が、何と製作開始の矢先、中尾さんが病に倒れ急逝されました。独りぼっちになった摩耶さんは悲嘆に暮れ、製作は完

全にストップ。心配された当時の宮川院長が「瀬井君どぎゃんかならんどか」と相談されました。そう言われたからには何とかしないと、と思い摩耶さんにお会いしました。言葉をかけても返事はなく困難を極めました。やっとの事で我が家へ。12月でしたので日頃したこともないクリスマス会と称して迎えました。帰り時には笑顔もあり、軽い気持ちでまたお正月明けにね、と別れました。年が明けると、宮川院長が「摩耶さんの待っとならずぞ」とのこと、慌てて参上すると楽しみにしていたらしく、思わずマンションを引き払って家に来ますかと言ってしまいました。何と返事は「うん」と。それから我が家での下宿生活が始まりました。朝出かけて画を描き夕方我が家へ帰る、絵筆のピッチも上がりました。でもタイムリミットは近づいてきます。完成を間に合わせるため、休日には何度か一家総出で壁画の下絵塗りに出かけました。私の一筆もロビーの何処かにはありません。こうしてようやく完成に漕ぎ着けました。評判はよく、その後、他の済生会病院が新築時に参考にされたと聞いています。

名誉院長 / 瀬井圭起



みすみ病院の できごと

SAISEIKAI MISUMI HOSPITAL

新入職員オリエンテーション

2019年4月に看護師4名が入職し、2日間のオリエンテーションを行いました。

まずはみすみ病院と宇城・上天草地域のこと、そして社会人としてのマナーや、医療人として知っておくべきことなど、短い時間ではありますが多くの内容を学んでもらいました。3日目からは配属された部署で業務を開始しております。まだ業務を覚えるのに必死で余裕がないと思いますので、みなさん暖かく見守ってあげてください。

企画総務室



▲満開の桜の前で、三角(さんかく)ポーズ!

部署紹介★

情報システム室



ITによる業務改善に取り組んでいます

2017年6月に、情報システム室として、組織上位置づけられました。とは言っても、実態としては、システム室スタッフ4名全てが、医事室の男性スタッフ4名が兼務しております。業務比率としては、医事：システム＝7：3くらいです。PC故障から、システム調達・管理、ツール開発など、システム全般にかかる業務を多岐に渡り行っている部署です。

システムやITの力を駆使して、職員の働き方や職場環境が良くなるようにと、日々考えております。一生懸命考え過ぎて、自分たちの働き方改革は二の次になってしまうことが、最近の葛藤です。

